

カリキュラムの見直し



ここがよかった!

こうすりゃよかった!



カリキュラム・マネジメントの手引き



手作業って大変だな。

こんなにたくさんお米ができるんだね。



大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課

<はじめに>

新学習指導要領の確実な実施のためには、各学校においてカリキュラム・マネジメントが適切に実現されていることが欠かせません。そのため、大阪府教育庁として、令和元年度からの2年間で「カリキュラム・マネジメント調査研究事業」として、カリキュラム・マネジメントの実現のために重視すべき観点ごとに項目を立て、調査研究校において実践研究を進めていただきました。

この度、その事例や参考資料等を手引きとしてとりまとめました。教職員がカリキュラム・マネジメントの意義を理解し、その効果を実感しながら、学校全体で組織的に取り組みを進めることができるよう、各校の実態に応じてご活用ください。

<令和元・2年度 カリキュラム・マネジメント調査研究実践校>

- 摂津市立摂津小学校
- 枚方市立招提小学校
- 枚方市立第一中学校
- 和泉市立北池田小学校
- 和泉市立信太小学校
- 熊取町立西小学校
- 岬町立深日小学校

第1章 カリキュラム・マネジメントを知ろう

- カリキュラム・マネジメント Yes/Noチャート
- “カリキュラム・マネジメント”って何だろう？
- カリキュラム・マネジメント Q&A インデックス

第2章 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた実践事例とその工夫について

カリキュラム・マネジメントの3つの側面を通して、教育活動の質の向上を図ろう

(1)教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく事例

- ・ 主体的に考え、高め合う子どもの育成 ～子ども理解を基盤に、つながりに気づく学びをめざして～ 摂津市立摂津小学校
- ・ 国語科を軸とした教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントを通して、子どもたちの言語能力の育成を図る 枚方市立招提小学校
- ・ 総合的な学習の時間を軸としたカリキュラム・マネジメント ～生徒の資質・能力の教科等横断的な育成～ 枚方市立第一中学校
- ・ 「食に関する指導」を通じて家庭・地域とつながる西小っ子 熊取町立西小学校

(2)教育課程の実施状況を評価してその改善を図る事例（PDCAサイクルの構築）

- ・ 子どもたちの資質・能力の育成をめざしてつながり、深める“チーム北池田”の取組み 和泉市立北池田小学校
- ・ 聴き合い、学び合うことをベースに、資質・能力を育む 和泉市立信太小学校

(3)教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制の確保とともにその改善を図る事例

- ・ ひと・まち・つながる教育 岬町立深日小学校

第3章 カリキュラム・マネジメントの実現のための参考資料集



第1章

カリキュラム・マネジメントを知ろう

カリキュラム・マネジメントを学校全体で組織的に進めるためには、まず、カリキュラム・マネジメントの根拠や意義を理解しておく必要があります。第1章の「Yes/No チャート」や「Q&A インデックス」を活用しながら、学校やご自身にとって課題となっていること、必要としていることを明確にしてみましょう。下表に示した学習指導要領解説総則編の該当箇所もあわせて読み進めると、より理解が深まります。

学習指導要領 第1章 総則 該当箇所	
第1の4	カリキュラム・マネジメントの充実
第2の1	各学校の教育目標と教育課程の編成
第2の2	教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成
第5の1	教育課程の改善と学習評価等
第5の2	家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

カリキュラム・マネジメント Yes/No チャート

この「カリキュラム・マネジメントの手引き」
を読み進めていくにあたり、あなたが必要な
情報にいち早くたどり着くためのチャートです。



あなたはどのタイプでしょうか。
矢印に沿って進んでみましょう！

(凡例) **Y** → …YES

N → …NO

©2014 大阪府もずやん

START

カリキュラム・マネジメントの
基本的なことから知りたい



第1章
「“カリキュラム・マネジメント”
って何だろう？」へ



カリキュラム・マネジメントの実現
をめざしてはいるものの、具体的に
何か課題が明確になっていない



第1章
「カリキュラム・マネジメント
Q&A インデックス」へ



各校におけるカリキュラム・マネ
ジメントの実現に向けた学校
の取組みの様子が知りたい



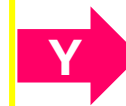
教科等横断的な学習について
学校全体で進めていきたい

Y

第2章(1)
「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を
教科等横断的な視点で組み立てていく事例」へ



PDCAサイクルによって
教育課程の実施状況を評価
してその改善を図りたい



第2章(2)
「教育課程の実施
状況を評価してその
改善を図る事例
(PDCAサイクルの
構築)」へ



地域人材や資源など
を活用して
カリキュラム・マネジメント
の実現をめざしたい



第2章(3)
「人的又は物的な
体制の確保とその
改善を図る事例」へ



カリキュラム・マネジメントの実現
に向けて、すぐに使える資料がほしい

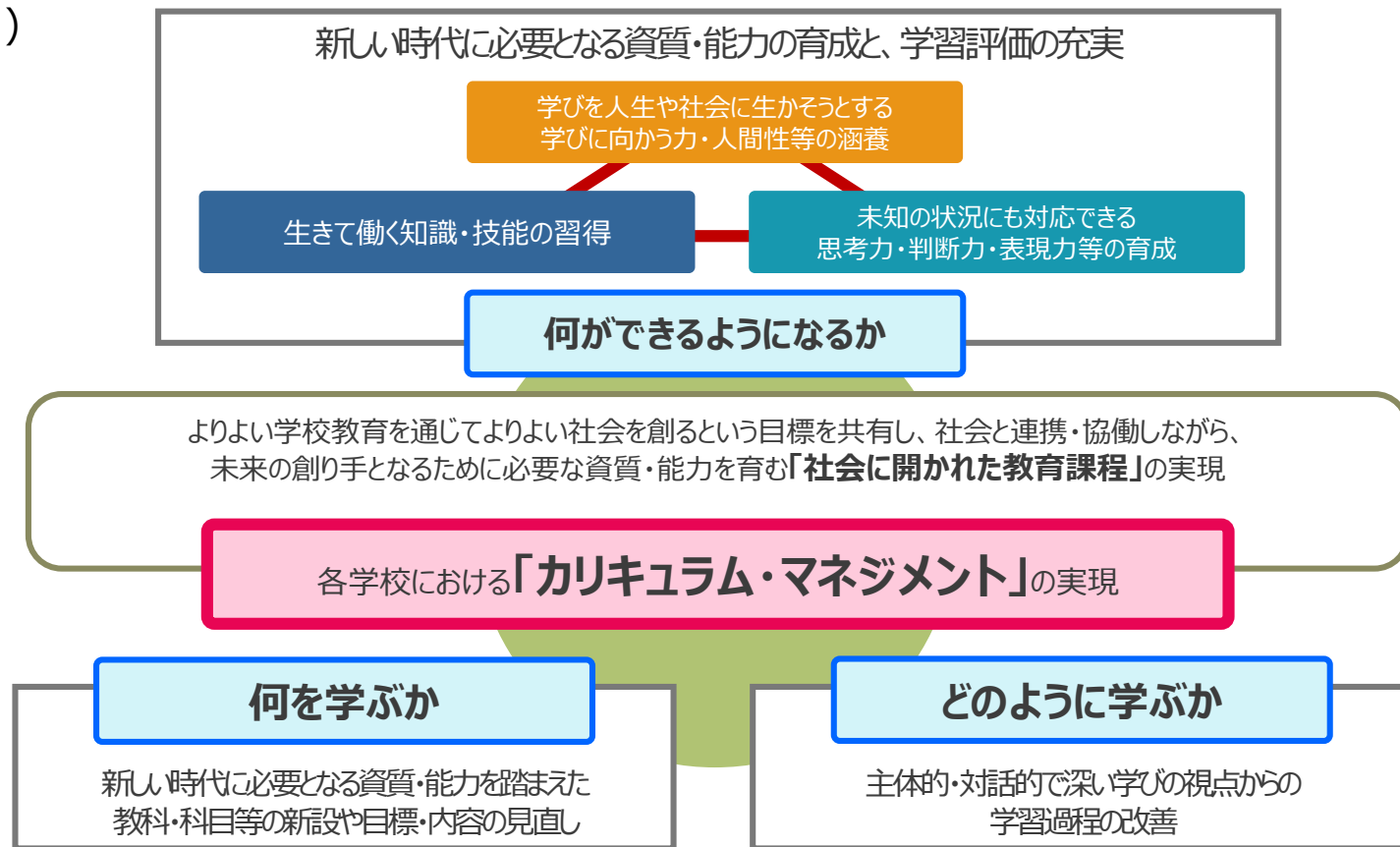


第3章
「カリキュラム・マネジメントの
ための参考資料集」へ

“カリキュラム・マネジメント”って何だろう？

(小学校学習指導要領 第1章 総則 第1の4)

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。



「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握しておくことが大切

- ①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

これらの「3つの側面」を手だてとしながら、
教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことが重要

POINT

- (1) 「学校の教育目標」と「教育課程」はつながっているか
- (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか
- (3) 「学校の教育目標」、「教育課程」、「授業」は、児童生徒、地域、学校の実態に応じたものになっているか
 - ・目標や内容等は妥当か
 - ・人的・物的体制に無理はないか



それぞれのつながりを意識して、俯瞰的に捉えることが大切です

「木を見て、森を見ず」
になっていませんか？



“カリキュラム・マネジメント”って何だろう？

POINT (1) 「学校の教育目標」と「教育課程」はつながっているか ～「学校の教育目標」と「教育課程」をつなぐ～

小学校学習指導要領解説 「各学校の教育目標と教育課程の編成」

…各学校において教育目標を設定する際には、次のような点を踏まえることが重要となる。

- (1) 法律及び学習指導要領に定められた目的や目標を前提とするものであること。
- (2) 教育委員会の規則、方針等に従っていること。
- (3) 学校として育成を目指す資質・能力が明確であること。
- (4) 学校や地域の実態等に即したものであること。
- (5) 教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであること。
- (6) 評価が可能な具体性を有すること。

学校の教育目標と教育課程をつなぐことについては、「各学校の教育目標と教育課程の編成」として学習指導要領解説にこのように示されている。

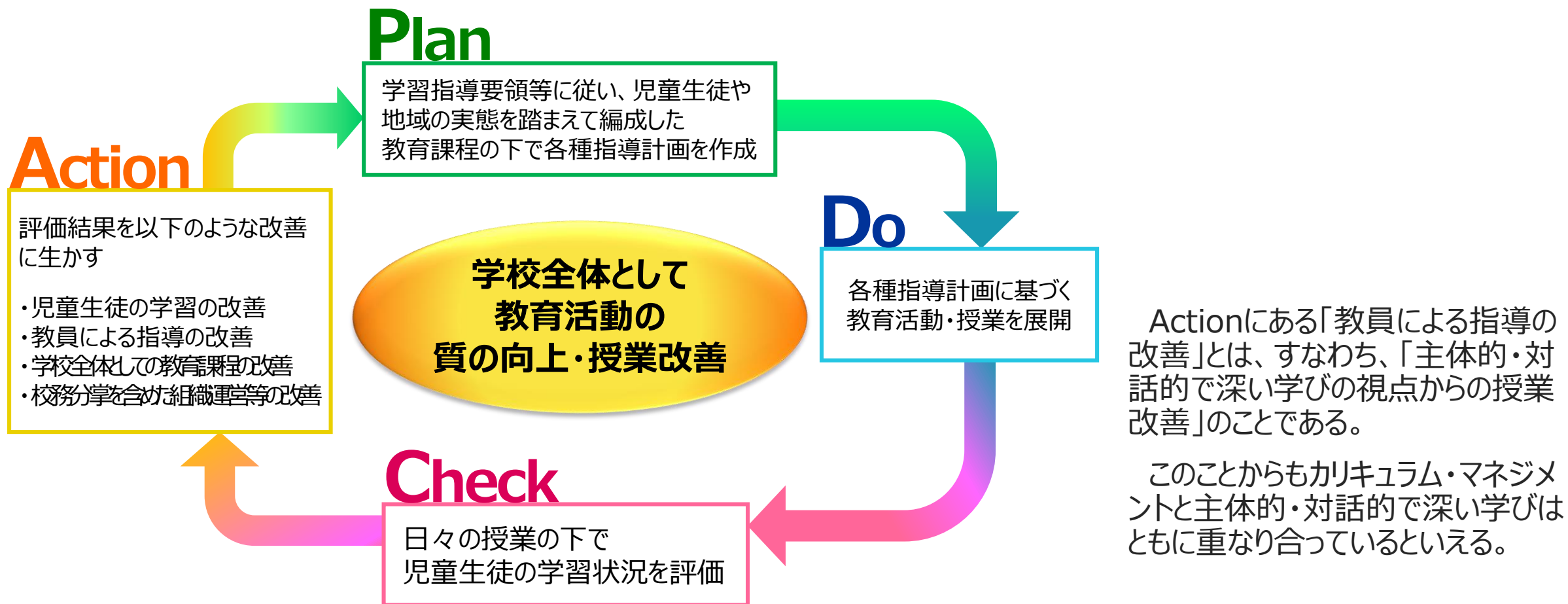
仮に自校の教育目標を問い直す際には、例えば、次のような観点が考えられる。

- ア 自校の児童生徒、地域の実態に即し、自校の児童生徒や教員にとって必要感のある教育的な価値を有するものになっているか
- イ 育成をめざす資質・能力が明確であり、評価可能な具体性を有したものとなっているか
- ウ 学校の教育目標のめざすところや、その実現に向けた手だてが教職員間で共有され継続的に実施できる持続可能性を伴ったものとなっているか

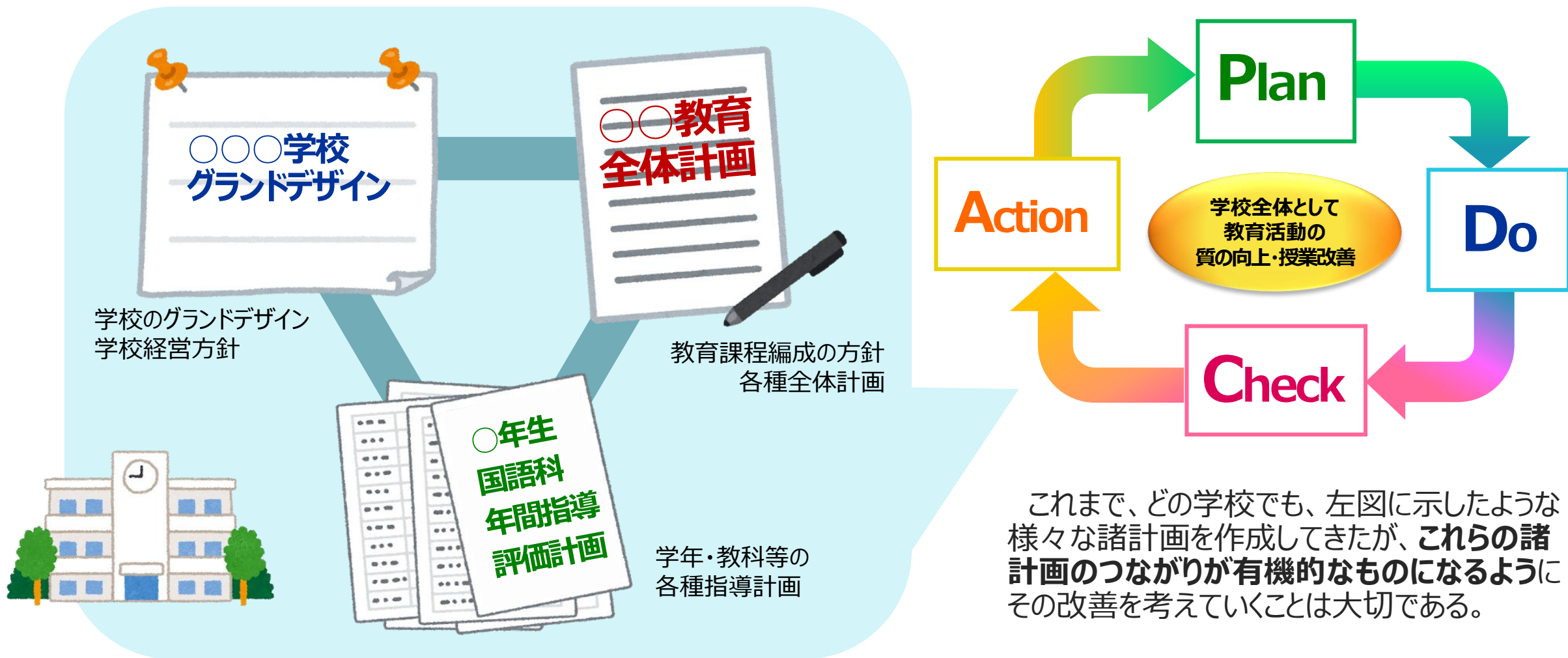
例：学校のランドデザインや学校経営方針、教育課程編成の方針等

令和2年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 総則部会 配付資料をもとに作成

POINT (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか ～「教育課程」と「教育活動（授業）」をつなぐ～



POINT (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか ～「諸計画のつながり」を改善する～



POINT (3) 「学校の教育目標」、「教育課程」、「授業」は、 児童生徒、地域、学校の実態に応じたものになっているか ～学校評価との関連を図り、改善の切り口や重点を精査する～

小学校学習指導要領 第1章 総則

第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価等

ア ...各学校が行う学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう留意するものとする。

小学校学習指導要領 解説 総則編 第3章 第5節 1. ①

カリキュラム・マネジメントは、本解説第3章第1節の4において示すように、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えて組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくものである。

学校教育法

第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講じることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

令和2年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 総則部会 配付資料をもとに作成

カリキュラム・マネジメント Q&Aインデックス

カリキュラム・マネジメント調査研究校が実践を進めるにあたって、苦労したことや実感したことについて、Q&A形式で質問にお答えします。

それぞれのQ&Aで触られている取り組み内容の詳細については、第2章に示されていますので、該当する学校のページをご覧くださいとより理解が深まると思いますので、是非ご活用ください。



©2014 大阪府もずやん



カリキュラム・マネジメントに取り組むにあたって、まず何から始めたらよいのでしょうか？



・本校ではまず、児童の実態を把握し、学校教育目標やめざす子ども像をベースに児童につけたい力を絞り込むことから始めました。つけたい力が決まった後、その力をつけるために、各教科でどんな学習活動を行うか、どの学習をつなげるかを考えながら、年間計画を決定していきました。
(枚方市立招提小学校)

・まず、児童の様子をみたり、アンケートをとったりすることで児童の現状をつかみました。また、校内研修を行い、KJ法を活用して意見を出し合い、教員全体で、今までの取り組みや児童の課題を共有し、方向性を確認しました。
(熊取町立西小学校)



単元まとめテスト等を採点・分析したり、児童生徒アンケートの結果から課題を見取ったりして、データに基づいて客観的に実態を把握することから始めてみましょう。



学校全体でカリキュラム・マネジメントの取組みを進めるためにはどうすればよいのでしょうか？

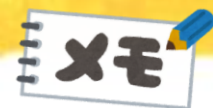


・本校では、まず1つの学年で集中的に取り組むことから始めました。カリキュラム・マネジメントを進め、生徒の学びをコーディネートしたことで、子どもの様子が変わりました。その学びの変容を見取り、校内へ発信したことで、カリキュラム・マネジメントの必要性が学校全体に広がりました。また、学校として生徒がつけるべき力を明確に定めることも有効でした。

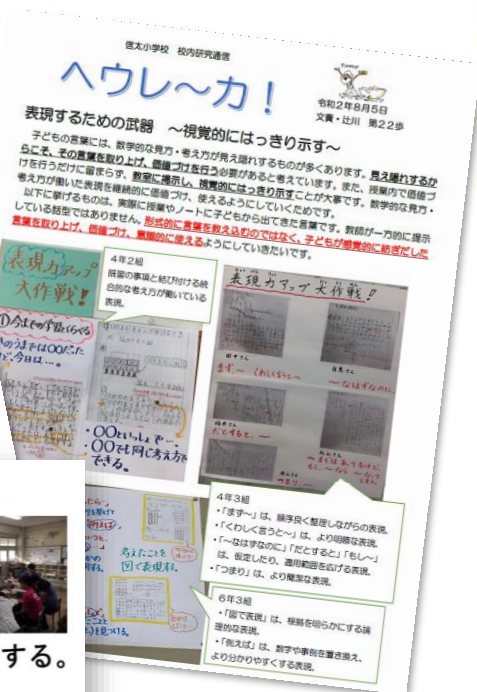
(枚方市立第一中学校)

・単元を通じて子どもにつけたい力と、そのための手だてを全教員が参加する事前研で共有するとともに、取組みの成果や課題、現在の取組みのようすを、研修通信を発行して共有することで、方向性や取組みを学校全体に広げました。

(和泉市立信太小学校)



管理職や研究主任だけがマネジメントを進めるのではなく、チーム学校として、学校に関わる全ての人で取り組んでいきましょう。管理職や研究主任のリーダーシップのもと、担任・担任外・支援担・専科教員・事務職員等の区別なく、全ての教職員、スタッフが、めざすべき子どもの姿の実現に向けて、教育活動をマネジメントしていきましょう。



DO 全職員による事前研の実施

- ねらい
- ・単元の内容を共有する。
 - ・「つきたい力」を共有する。
 - ・「つきたい力」を付けるための手だてを共有する。



「教材の魅力」や「授業を視る視点」の共有



カリマネ表（単元配列表）を作ることのメリットは何ですか？



学校の教育計画を俯瞰的に見ることができ、教科の系統性や他教科とのつながり、他学年とのつながりを意識し、学習内容と関連づけて指導できるようになりました。その結果、既習事項を活用したり、他教科の学びとつなげたりしながら、学びを深める子どもたちの姿が見られました。

（熊取町立西小学校）

関連のある内容で単元をつないではいるのですが、成果が感じられないのはなぜでしょうか？

関連する単元をつなげることだけが目的になってしまっていることも考えられたので、学校教育目標やめざす子ども像に迫るために、教科等の関連を生かすということを改めて確認しました。また、取組みの成果を明らかにするために、まずは取組みの評価規準や判断基準を具体化することから始めると効果的でした。

（摂津市立摂津小学校）



年間指導計画表に、教科等の関連を生かした指導の計画や、C評価の子どもへの手だてや改善点を記録し、次年度に引き継いでいくことも大切です。また、前年度の担当者と一緒に計画を立てたり、学期ごとに計画を見直したりするなど、校内研修の持ち方を工夫するとよいでしょう。

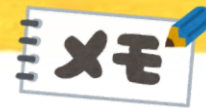


P D C A の C (Check) 機能を向上させるために、
どんなことを行いましたか？



校内研究授業後の討議会において、ゴールを明確にし、
授業で見取った子どもたちの姿をもとに討議するようにしました。
また、つきたい力が子どもたちについてかどうか見取るために、
単元末アンケートや力だめし問題等を実施し、check（検証）
を行いました。

(和泉市立北池田小学校)



真に必要な評価項目・指標を精選して設定するなど、
重点化を図り評価をしていくことも大切です。網羅的で
項目数の多い指標は、単なる数値の羅列になりがちです。
“評価のための評価”になっていませんか？

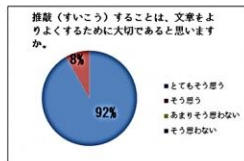
Check機能の向上のために

つきたい力を子どもの姿を通して見取る

- 研究授業単元末 アンケートの作成・実施
- 研究授業単元末 評価問題の作成・実施
- 市作成力だめし問題の実施

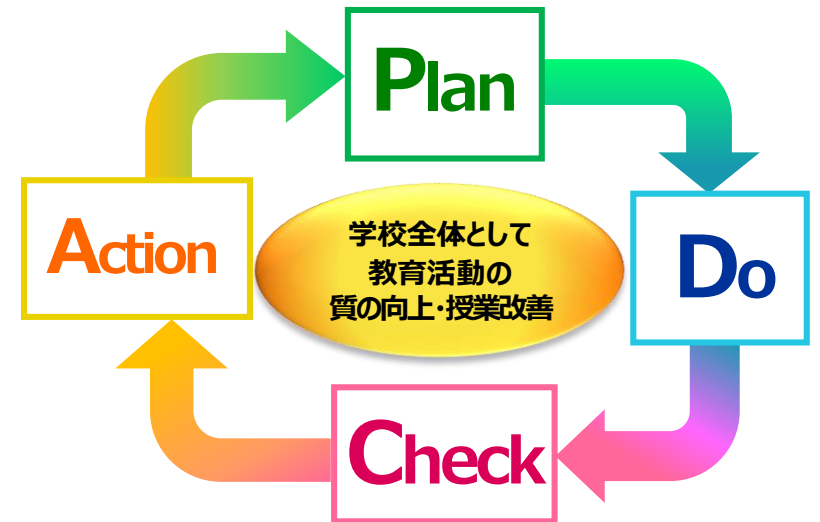
授業についてのアンケート

項目	回答
1. 授業の目的が明確で、子どもが理解しやすいように工夫されていたか。	
2. 授業の進め方がよく、子どもが集中して授業に取り組めたか。	
3. 授業の進め方がよく、子どもが集中して授業に取り組めたか。	
4. 授業の進め方がよく、子どもが集中して授業に取り組めたか。	
5. 授業の進め方がよく、子どもが集中して授業に取り組めたか。	



項目	回答
1. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
2. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
3. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
4. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
5. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	

項目	回答
1. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
2. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
3. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
4. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	
5. 漢字の読みが正確で、文章の読みが速い。	





地域人材を有効に活用するには、どのように連携したらよいのでしょうか？



学習発表会では、地域の方と一緒に、一年間の取組みを劇にして発表しました。



まずは、「地域を知ること」からです。地域の人的・物的資源をどのように捉え、把握し、つながっていくのがカギになります。子どもたちが地域の方々と出会い、自然・文化・環境等にふれ合い、そのために必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立ててきました。

また、地域の方々との普段のお付き合いから新たな発見があります。発見の中から魅力的な取組みが生まれます。地域の方々は「子どもたちのために何かしてあげたい」と思っています。そのためには、学校も地域に情報発信をしていくことが大切です。

大学・企業・行政などにつながるチャンスもあります。日頃から、子どもたちのために学習できる環境はないかとアンテナを張って、積極的に求めていくことが大切です。「子どもたちにこんな力をつけたい！」という思いを共有して、めざす子ども像を一緒に考えて進めていくことで、効果的な連携につながっています。

(岬町立深日小学校)



学校の「思い」が強すぎて、地域・保護者のニーズに合っていない…ということはありませんか？ 地域・保護者の願いをふまえた「めざす子ども像」をみんなで共有しながら、カリキュラム・マネジメントの実現を図ることが大切です。



カリキュラム・マネジメントに取り組んでよかったことは？



・P D C Aサイクルを確立し、校内研究体制の充実を図ることで、教員が子どもたちの姿を通して校内研究の意義や効果を実感できたことです。その結果、全ての学級で授業改善の視点に基づいた授業を積み重ねていくことができるようになりました。

・教職員全体で課題を共有することにより、取組み等の改善を図るためのコミュニケーションが増え、協力して歩んでいくことができるようになったことです。学習指導においても、他の教科等とのつながりを意識して、効果的に取り組めるようになりました。



第2章 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた 実践事例とその工夫について

カリキュラム・マネジメントの3つの側面を通して、
教育活動の質の向上を図ろう

「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面

- ①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

- ①摂津市立摂津小学校／枚方市立招提小学校
枚方市立第一中学校／熊取町立西小学校
- ②和泉市立北池田小学校／和泉市立信太小学校
- ③岬町立深日小学校

第2章では、上記①～③の側面に沿って実践された取組みを、調査研究校ごとにまとめています。
各校の実態や課題に合った取組みを参考にして、カリキュラム・マネジメントの実現を図りましょう。

<留意点>

- 本文中の二次元コードより、各種資料がダウンロードできます。各校の実態に合わせて加工しても構いませんが、学校HPに掲載する等、データの再配布はしないでください。
- 各校において、本章に掲載された資料を活用いただく際に、資料を作成した当該校にお問い合わせをしたり、使用許諾を求めたりする必要はありません。